トップニュース

妻と〝終楽旅行〟

末期がん宣告受けた新井利夫さん

限りあるいのちを楽しく大切に

末期がんの宣告を受けた新井利夫さん(76、岐阜県瑞穂市・浄明寺門徒)は、妻の明美さん(73)と一緒に、本山や全国の別院・教堂を参拝する「西本願寺グランドツーリング―全国別院巡拝スタンプラリー」を〝終楽旅行〟と称して体調と相談しながら楽しむ。6月9日に長男の秀樹さん(49)と3人で参拝した香川県丸亀市・塩屋別院から本紙にその情報が寄せられた。新井さんに電話で取材を申し込むと、「特別にお話しするようなことはないが、取材してくださるならぜひご本山で。体調に合わせて伺う」と。6月29日に実現した。

新井さんは開口一番、「1年延期していた結婚50周年の奉告参拝を4月にご本山でさせてもらった。あれが最後だと思っていたので、再び参拝できてうれしい限り。先延ばしできない毎日を生きさせていただいているから、新型コロナであろうと、私には1つ1つが大切なご縁。すべてが有り難いご縁」と、そばに座る明美さんにほほ笑みかけた。

新井さんにがんが見つかったのは2018年6月。浄明寺初の念仏奉仕団に参加し、本山から帰った後のことだった。体に異常を感じて診察を受けると、平滑筋肉腫という希少がんのステージ4と診断された。「やっぱり驚いたが、それまでに不整脈で2度の手術を受け、妻も狭心症で手術を受けており、常日頃から、お互いにいつ死ぬかわからないのちだから、毎日を大切に楽しく過ごそうと話していたので、悲壮感はなかった。そして何より、常々ご法座で『摂取不捨』と聞かせていただいている。すべて阿弥陀さまにおまかせだから」と穏やかに話す。

病気と老いに正面から向き合い、夫婦で「楽しく過ごそう」と誓い合い、本山や全国の別院を参拝する新井利夫さん、明美さん夫妻

明美さんは「老後は夫婦でのんびりと過ごすはずだったが、お互いの病気がご縁で、仏さまのお話が身にしみる。限られたいのちを生きさせていただいていることにあらためて気づかされ、生き方が変わったというか、避けていた死と正面から向き合い、今という時間を大切に過ごせるようになった」と語る。

昨年12月、新井さんのがんは複数の臓器に転移したことがわかり、医師から抗がん剤治療の停止が告げられ、緩和ケアを勧められた。新井さんは緩和ケア病棟には入らず、自宅で過ごすことを決めた。「今まで以上に、残された時間を妻や家族と大切に過ごしたいと思っている。私を支えてくれる医師や看護師、友人、そして妻に感謝の気持ちでいっぱい。感謝しかない」と話した。

◇

新井さんは瑞穂市役所に定年まで勤め2007年に退職し、家業の柿農園を受け継いだ。母・みす江さんの影響を受けて、若い頃から同寺の法座に欠かさず参り、趣味のカメラで記録係も買って出ている。農作業の合間に、夫婦で親鸞聖人や蓮如上人のご旧跡巡りの旅を楽しんだ。みす江さんから勧められた本紙をはじめ姉妹誌「大乗」、「季刊せいてん」、仏婦機関誌「めぐみ」を長年愛読してきた。

新井さんは「抗がん剤治療は想像以上につらかった。副作用でなかなか寝つけなかったので、その心境を短歌で詠むようになった。『大乗』に投稿し、初採用が2019年8月号。『不治病宣告されて妻と行く思い出づくり終楽旅行』という句だった」。

グランドツーリングを始めたのは2018年からだが、がんの宣告を受けてからは、2人にとってより大切な時間となった。カメラをいつも持ち、「これが最後」と思いながらシャッターを切っている。写真は何冊ものアルバムに収められるほどになった。

新井さんは「明日のいのちはわからない、限りある私のいのち。だからこそ、老いにも病にもしっかりと向き合って、毎日を楽しく大切に過ごさせていただいている」と力強く語った。

本山のお茶所でスタンプを押す新井さん夫妻。新井さん夫妻が終楽旅行として楽しむグランドツーリングは、本山と全国の別院や教堂に参拝し、オリジナルスタンプを集めるもの。問い合わせは担当の本山・重点プロジェクト推進室☎075（371）5181。

在宅で仏教、浄土真宗を学ぶ

中央仏教学院通信教育　学習・専修両課程の募集締切迫る

在宅で自分のペースに合わせて仏教、浄土真宗の教えを体系的に学べる中央仏教学院（京都市右京区）の通信教育。現在、9月1日から開講される学習課程、専修課程の受講者募集を行っている。申し込み締め切りは7月31日。同学院では「日々の生活は苦悩に満ちている。その苦悩を超える道は『真実の教え』を知ること。自分の時間を生かし、その教えを学んでみませんか」と受講を呼びかけている。

学習課程は、広く一般の人が、浄土真宗や仏教、宗教を体系的に学べる3年間のコース。1年目は「人生と宗教」「釈尊とその教え」「真宗入門」「浄土真宗のおつとめ」「本願寺教団の活動」の5科目を受講し、入門的な学びから始め、2年目、3年目と学びを深めていく。

学習方法は、教科書を手元に置き、講義動画を視聴する。質問、疑問にはメールなどを通じ学院講師が回答する。単位取得のために、学年末のレポート試験がある。スクーリングは従来は対面形式で行っていたが、新型コロナ対策のため、現在はスクーリング用の講義動画を視聴する形に代用している。

学習課程を受講したある女性は、夫と子ども、両親を次々と亡くし、別離の悲しみ、人生の苦に直面していた時に、『歎異抄』で親鸞聖人の教えに出遇い、通信教育の門をたたいた。「聖人のみ教えをもっと学びたいと思って入学した。難しい内容もたくさんあったが、丁寧に解説されており、これまで独りよがりに理解していたみ教えが、体系的にしっかりと学べた」と話している。

また、専修課程は、浄土真宗本願寺派の僧侶を目指す3年間のカリキュラム。卒業者は得度講習会と得度考査、並びに教師教修出願資格試験講習会が免除となる。入学に際しては本願寺派の住職の承認が必要。

学習は、『僧侶教本A』『僧侶教本B』をテキストに講義動画を視聴していく。試験は対面で開催されるスクーリング時に行う。

年間授業料は、学習課程が6万円で教材費（1年次のみ）5200円、専修課程は7万円で教材費5200円（3年次は7800円）。

入門課程（eラーニング）は1年間

思い立った時に受講スタート

通信教育には入門課程（eラーニング）もある。パソコンやスマートフォンで仏教と浄土真宗の基礎を1年間学んでいくカリキュラムで、随時入学できるので、思い立った時にすぐに受講を始められる。

「仏教の根本原理」「釈尊の根本教説」など最初に仏教を学び、続いて親鸞聖人と浄土真宗を学んでいく。講義動画（約10分）を視聴するだけでなく、自らの理解度を点検しながら学びを進めていく。仏教や浄土真宗の難しい言葉には用語解説集が準備されているので、初心者でも1年間の学習で確実に仏教や浄土真宗の基礎が身につくようなシステムになっている。授業料は3万円。

問い合わせは同学院通信教育☎075（801）3507。通信教育ホームページ http://www.chubutsu-tsukyo.jp/index.php に詳細が掲載されている。

同学院通信教育は1972（昭和47）年9月、親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年を記念して開設され、今年9月に50周年を迎える。

開設時は1年課程、3年課程の2課程だったが、カリキュラムを変えるなどして、1984（昭和59）年から現在の学習課程、専修課程が導入されている。入門課程は1997（平成9）年に設けられ、eラーニングを導入したのは2020年9月。

開設から2021（令和3）年までの入学者は3万4658人。年齢層も18歳から80代までと幅広く、住職、坊守、寺族のほかにも、会社員、医師、弁護士、教員、保育士、介護士、主婦、自衛官、自営業など職種はさまざま。

本願寺新報8月1日号
（お盆特集号）

仏事作法の特集も

好評発売中　ご注文は下記フリーダイヤル
本願寺出版社　注文専用フリーダイヤル　0120-464-583

本願寺新報
hongwanji journal

7月20日（水曜日）
毎月1日・10日・20日発行

発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

茶道 藪内家燕庵
京都市下京区西洞院正面下ル
http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

赤光白光

6月に父の1周忌法要が故郷の寺院でつとめられた。6月に得度式を受け、浄土真宗の僧侶になったばかりの兄（住職）の2人の息子の「お得度奉告法要」と併せて営んだ。剃髪した2人が内陣に着座しての正信偈。多くのご門徒や日曜学校の生徒に温かく見守られながらのおつとめ。緊張して少し震えた甥たちの声が爽やかだった。

▼長男のほうが記念法話をした。得度習礼の様子や祖父の思い出を話し、最後に「私の命が尽きてお浄土に生まれ、祖父に会わせていただいたとき、『じいちゃんのおかげで精いっぱい真宗のみ教えを学ばせていただき、ご門徒の方々と仏法を喜ばせていただきました』と胸を張って言えるような生涯を生きねばならないと思っている」と涙ながらに語った。

▼亡き父が楽しみにしていた2人の得度。父を知る参拝の方々も、私も泣いた。甥の話を聞きながら、生前は気にも留めなかった父の姿や言葉が次々と浮かび上がってきた。父に温かく包まれているように思えた時間だった。

▼阿弥陀経に出てくる「倶会一処」という言葉。命尽きた後、倶にお浄土に生まれ再び会える世界を私たち念仏者がいただくというこの言葉は、甥が語ったように、亡き方々が私たちにお念仏申すようにはたらき続けてくださっている言葉でもあるように思う。悲しみとともに、父の温もりを感じた時間であった。父、そして甥たちのおかげで、確かなものに出あえていてよかったと思えた法要だった。

親鸞聖人御誕生 850 立教開宗 800
ご縁を慶び、お念仏とともに

福岡支局 〒812―0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円（年間4,080円） 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181／大谷本廟 075(531)4171

宗派公式Webサイト　https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ　https://www.hongwanji.kyoto

二〇二二年度 安居講本

最新刊

真宗伝道学研究序説　深川宣暢著　定価2640円(税込)
これまで曖昧であった真宗伝道学を、基本的な真宗教義の上に伝道学を位置づけることで体系化し、伝道の現場での様々な問題解決に役立つ基礎を学ぶ一冊。

学佛 ―仏の大悲心を学ぶ―　直林不退著　定価1650円(税込)
『大法輪』収録のエッセーと『桐生タイムス』に連載したコラム記事のみを選び、加筆修正し一冊にまとめたもの。日本仏教と浄土真宗の歴史に学ぶ生きかたとは？著者の学びの歩みも振り返る。

選擇本願念仏集講義　普賢保之著　定価17600円(税込)
末灯鈔講述　井上善幸著　定価10450円(税込)
勝鬘師子吼一乗大方便方広経講読　東光爾英著　定価7150円(税込)

永田文昌堂　600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入
TEL 075-371-6651　FAX 075-351-9031

法藏館
http://www.hozokan.co.jp

新装版 現代語訳 蓮如上人御一代記聞書 ―如来の眼・私の眼
高松信英[著] 真宗門徒が送る信仰生活と、蓮如上人の日頃の活動が綴られた御一代記全三一六条を現代語訳。どこから読んでも真宗の教えがわかる1冊。一六五〇円

講解 教行信証 全5巻（オンデマンド復刊）
星野元豊[著] 長らく品切れだった教の巻・行の巻を含め全5巻をオンデマンド復刊。『教行信証』研究の集大成。［分売可］
①教の巻・行の巻 八、八〇〇円　②信の巻 一一、〇〇〇円　③証・真仏土の巻 一一、〇〇〇円　④化身土の巻・総索引 一一、〇〇〇円　⑤補遺篇 四、四〇〇円

怒り重版！3刷
親鸞 左訓・字訓・語訓辞典
田代俊孝[編] 親鸞聖人自身の言葉による真宗用語辞典が誕生！親鸞聖人の著書の中に記された語訓や用語説明を丹念に集めた、初めての辞典。三、三〇〇円

〈季刊誌〉ひとりふたり・・・お盆を迎える　一三六円
三〇部以上のご購入で一部一〇円に割引。
施本に最適！

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル　TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
表示価格は全て税込　新刊メール配信中！　お買上16,500円(税込)以上送料無料

探究社　https://www.tankyusha.co.jp

お寺と家庭をつなぐ法話の便り
よろこび　お盆
執筆者 前田壽雄 斯波徹 浄土真宗の風景 章道真 三上和信 秋山 親鸞聖人のご生涯 近松 真定 伝説とお念仏
132円　100冊以上は割引有

2023年(令和5年)版 ほのぼのカレンダー
2023年(令和5年)版ほのぼのカレンダーが完成しました。例年通り、故東井義雄先生のお言葉を標語とし、毎月の絵は寺田みのる先生にお願いしました。また、標語の文字は、故谷内正遠先生の版画文字となっております。さらにカレンダー標語の解説書『悪人正機この私があめて』も1部110円で発売しておりますので、カレンダーとともにぜひお買い求めください。
1部150円

〒520-0027 大津市錦織2丁目9-30-101
TEL 077(599)4201　FAX 077(599)4220
【e-mail】post@tankyusha.co.jp　【表示価格は税込】

方丈堂出版 https://hojodo.jp/

『仏教へのいざない』 山崎龍明著　四六判上製 238頁　定価1,571円(税込)
仏教は人間学であり、人間の「幸福学」であるとする著者が、ブッダの出家（大いなる放棄）を軸に展開する仏教的人間論の入門書。

『アメリカで真宗を学ぶ』 ―親鸞聖人の「三願転入」とアメリカ人の真宗理解―
真宗大谷派の「教師養成校」として設置されている「大垣真宗学院」の年に一度の「上山研修」における羽田信生先生御講述の、特別講義の聴記。
羽田信生著　四六判 並製 カバー 約200頁　定価2,420円(税込)

街角の掲示板『心の窓』
人生感動の折々のことば。150首！
聖典をはじめ有名な人びとの金言や句、自作の言葉を掲示板に600余掲げた。このたび約150首を選び、その背景をやさしく説明してまとめた、待望の書。
那須信孝著　A5判並製 140頁　定価1,320円(税込)

希覯学術書復刊事業 『教行信證講話』三冊組　残部僅少
大江淳誠著　発行…永田文昌堂・百華苑　B5判 上製函入
一巻254頁／二巻244頁／三巻248頁3冊組　定価29,700円(税込)

注文製作 オンデマンド書籍

出版目録送呈　フリーダイヤル 0120-557-750　※価格はすべて税込
京都市伏見区日野不動講町 38-25